

取扱説明書

本製品をお買い上げ頂きありがとうございます。ご使用前に本取扱説明書、施工要領書、国土交通大臣認定書をよくお読みのうえ、現場の状況に合わせて正しく施工してください。



本製品のみでは認定工法になりません。
必ず別売のロックマックス壁用キット、床用キット等と組み合わせてご使用ください。

〈品番一覧・構成材料〉 はじめに、ご購入された商品が下記のとおり付属しているかご確認ください。

品番	サイズ	数量 (巻)	結束バンド (本)	取扱説明書 (枚)
RXST130	幅 130mm×長さ 2.3m	1	10	1

ロックマックスシート



結束バンド (φ0.8×900mm)



施工手順

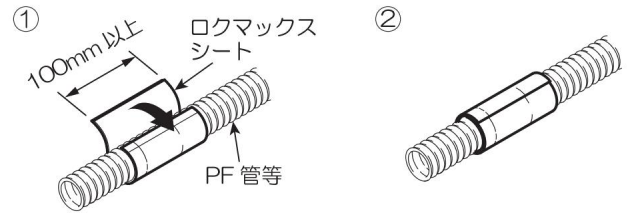
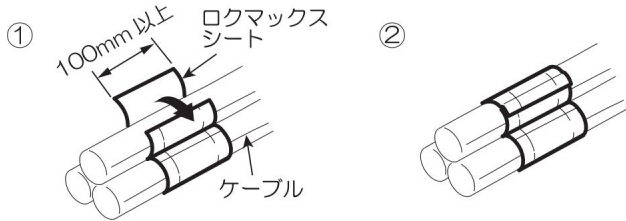
※ ロックマックスシートの施工は、ブロック充てん前に行ってください。

ケーブルへの処理 (導体断面積200mm²超~1600mm²以下)

合成樹脂製可とう電線管 (PF・CD管)、波付硬質合成樹脂管 (FEP管) への処理

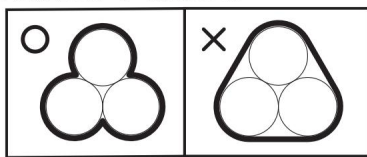
- ケーブルの種類、サイズ、占積率などが認定範囲に適合しているか確認してください。

- 配管の種類、サイズ、占積率などが認定範囲に適合しているか確認してください。



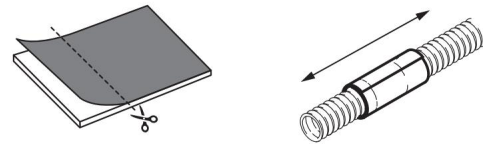
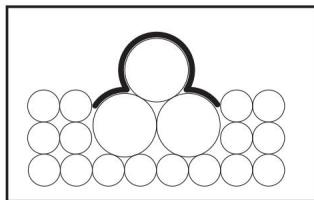
- シートの巻き付け位置を確認し、ケーブルに1周以上シートを巻き付けます。
- ケーブルをまとめて巻く際は、ケーブルの谷間に隙間が生じないように施工してください。

- 配管1本ごとにシートを巻き付けてください。
- シートの巻き付け位置を確認し、配管のサイズに応じて1周または2周以上シートを巻き付けます。(巻付け数は下表を参照してください。)



はくりフィルムはシートの重ねしろ部分だけをはがして巻き付けることで、シートをすべらせて施工箇所まで移動させることもできます。

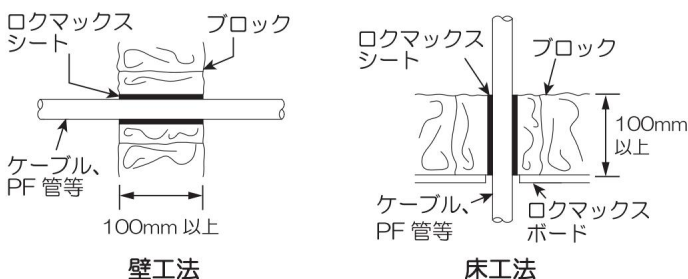
- ケーブル等が隣接して巻き付けが困難な場合は、露出部分のみに貼り付けることができます。



はくりフィルムのみカット

スライド施工可能

ロックマックスシートの巻付け位置



- 合成樹脂製可とう電線管
- 波付硬質合成樹脂管 (FEP管)

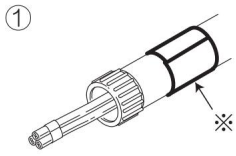
呼び	巻付け数	PF管 CD管		呼び	巻付け数	シート必要長さ※ (mm)
		シート必要長さ※ (mm)				
28	1周以上	170	160	30	1周以上	180
		36	200	190		220
		42	220	200		260
		44	220	200		630
		54	260	240		730
100				2周以上	910	

※ 重ねしろ 30mm を含みます。

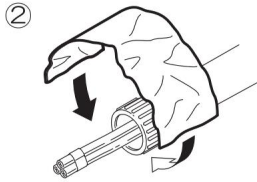
※ ロクマックスシートの施工は、ブロック充てん前に行ってください。

鋼製電線管、金属製可とう電線管への処理

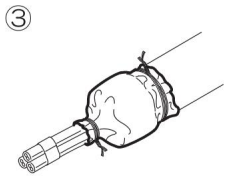
- 配管の種類、サイズ、占積率などが認定範囲に適合しているか確認してください。



※ 金属製可とう電線管の場合のみ、ブロック施工位置に1周以上シートを巻き付けてください。
(鋼製電線管の場合は不要)



- シートを必要長さでカットし、電線管端部に1周以上(巻き終わりの重ねしろ30mm以上)巻き付けてください。
- 壁施工の場合は、反対側の端部にもシートを巻き付けてください。(床施工では、床上のみ巻付け)



- ケーブル側は隙間が生じないように絞り込んでください。
- 付属の結束バンドを配管側とケーブル側にそれぞれしっかりと固定し施工完了です。
- この後、ロクマックスシート周辺にブロックを充てんします。施工要領の詳細は、キット品付属の取扱説明書又は施工要領書を参照してください。

● 鋼製電線管

呼び	シート必要長さ 電線管端部 (mm)	結束バンド 必要長さ ^{※1} (mm)
16~19	110	250
22~25	140	300
28~31	160	340
36~39	180	390
42~51	230	460
54~63	300	550
70~75	350	650
82	380	730
92	440	830
104	470	900

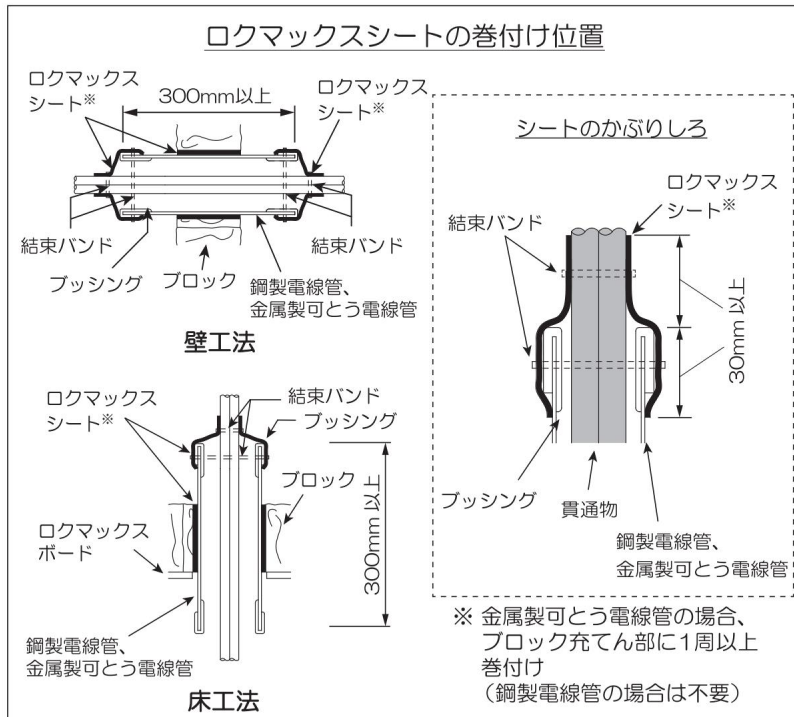
※1 しっかりと固定するため、2周巻き付けて1箇所を結束するために必要な長さの目安です。

● 金属製可とう電線管

呼び	シート必要長さ 電線管端部 (mm)	シート必要長さ ブロック施工部 ^{※1} (mm)	結束バンド 必要長さ ^{※2} (mm)
10	120	100	280
12	130	110	300
15	140	120	320
17	150	130	340
24	170	150	380
30	190	170	420
38	220	190	480
50	260	230	560
63	300	280	640
76	350	320	740
83	380	340	800
101	430	400	900

※1 重ねしろ30mmを含みます(推奨値)。

※2 しっかりと固定するため、2周巻き付けて1箇所を結束するために必要な長さの目安です。



※ 金属製可とう電線管の場合、ブロック充てん部に1周以上巻付け
(鋼製電線管の場合は不要)

	● ロクマルの各部材とは、併用できません。
	● 切断の際には保護具を着用してください。ケガの恐れがあります。
使用上の ご注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 本製品は、一般屋内用です。屋外やそれに準じた環境下でのご使用はおやめください。 ● 防水性能はありません。 ● ケーブル、配管の支持機能はありません。別途支持してください。 ● 防火措置材は、隙間ができないようにいねいに施工してください。 ● 床または壁貫通部の周囲に可燃物を置かないでください。 ● 特殊な環境下で使用される場合は、事前に弊社または行政・確認検査機関にご相談ください。 ● 工法表示ラベルは、弊社HPにてご請求ください。

ケーブル防災設備協議会会員：古河電気工業株式会社

工法表示ラベルの発行に関しては、
古河電気工業株式会社の委託を受けております。

技術事項のご相談・お問い合わせは

株式会社古河テクノマテリアル 防災事業部
TEL：0463-24-9341 FAX：0463-24-9346
URL：<https://www.furukawa-ftm.com/>